

# グラスアート・ライジング

## 藤田喬平、リトルトン、リベンスキーと世界の作家

同時開催 **テーマ展** 駒井哲郎と中村直人<sup>な おん ど</sup>

会期：2024年1月2日(火)～4月7日(日)

### 展覧会概要

世界と日本のガラス作家23名の70点を超える作品を、  
関彰商事株式会社の貴重なガラスコレクションより一挙公開し、  
20世紀後半のガラスの造形表現の広がりになります！



1960年代以降、ガラスを用いた作品制作は大きく変化し、素材の可能性を追求する世界各国の作家によって、多様な表現が生み出されました。ガラスの造形表現の黎明期ともいえるこの時代を牽引した、世界と日本の作家23名の作品を、茨城県に拠点を置く関彰商事株式会社の貴重なガラスコレクションから一挙公開します。同時にアール・ヌーボー期のボヘミアで表面を虹色に輝かせたガラスで世界的に名声を博したレッツ工房の作品を展示します。

また、同じくセキショウコレクションより、駒井哲郎の銅版画と中村直人の絵画作品を同時開催のテーマ展にて展示します。

### 見どころ

- ・20世紀後半の世界と日本のガラス作家の貴重な作品を一挙公開。
- ・表面が虹色に輝くレッツ工房の作品を同時に展示。
- ・同時開催のテーマ展にて、日本やフランスを拠点に昭和を通して活躍した駒井哲郎の銅版画と中村直人の絵画作品、約70点を紹介。

### 茨城県陶芸美術館

IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012

<https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

**開催概要**

展覧会名	<b>企画展</b> グラスアート・ライジング 藤田喬平、リトルトン、リベンスキーと世界の作家
会 期	2024年1月2日(火)～4月7日(日)
会 場	茨城県陶芸美術館 地下1階 企画展示室
主 催	茨城県陶芸美術館
特別協力・協賛	関彰商事株式会社
後 援	笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局
開館時間	9時30分～17時（入場は16時30分まで）
休 館 日	毎週月曜日（ただし、1月8日、2月12日は開館）、1月9日（火）、2月13日(火)
観 覧 料	一般840（680）円 70歳以上420（340）円 高大生630（520）円 小中生320（260）円（ ）内は20名以上の団体料金。 土曜日は高校生以下無料（ただし、長期休業日に当たるときは除く）。 1月27日（土）は満70歳以上の方無料。 ※「グラスアート・ライジング展」「駒井哲郎と中村直人展」の共通観覧券を販売します。

展覧会名	<b>テーマ展</b> 駒井哲郎と中村直人
会 期	2024年1月2日(火)～4月7日(日) ※開館時間、休館日は「グラスアート・ライジング展」に準じます。
会 場	茨城県陶芸美術館 2階 第2展示室
主 催	茨城県陶芸美術館
特別協力・協賛	関彰商事株式会社
観 覧 料	一般320（260）円 70歳以上160（130）円 高大生260（210）円 小中生160（130）円（ ）内は20名以上の団体料金。 土曜日は高校生以下無料（ただし、長期休業日に当たるときは除く）。 1月27日（土）は満70歳以上の方無料。 ※上記は「駒井哲郎と中村直人展」、および常設展の観覧料です。

**広報文1（40字）**

20世紀後半の世界と日本を代表するガラス作家23名の貴重な作品を一挙公開します。

**広報文2（109字）**

1960年代以降、ガラスの作品制作は大きく変化し、素材の可能性を追求する世界各国の作家によって多様な表現が生み出されました。ガラスの造形表現の黎明期ともいえるこの時代を牽引した、世界と日本の作家23名の作品を一挙公開します。

**広報文3（143字）**

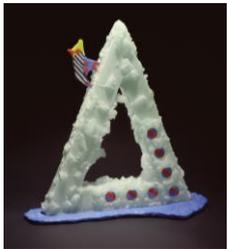
1960年代以降、ガラスの作品制作は大きく変化し、素材の可能性を追求する世界各国の作家によって多様な表現が生み出されました。ガラスの造形表現の黎明期ともいえるこの時代を牽引した、世界と日本の作家23名の作品を、茨城県に拠点を置く関彰商事株式会社の貴重なガラスコレクションから一挙公開します。

**プレスプレビューのお知らせ**

**1月5日(金)13時00分**より **プレスプレビュー**を行います。

## 出品作品画像

下記の作品画像は広報担当のe-mailアドレスまでご連絡いただけましたらデータをお送りします。  
使用の際には作品キャプション（収蔵を含む）併記してください。

広報用画像(ポスター画像)		※画像のみを使用する場合は以下のキャプションを掲載してください。	
		<p>①</p>  <p>ハーヴェイ・K・リトルトン ブルー・スプレー 1988年 セキショウコレクション</p>	<p>②</p>  <p>藤田喬平 飾宮 竹取物語 1989年 セキショウコレクション</p>
<p>③</p>  <p>ダンテ・マリオーニ 無題 (赤) 1990年 セキショウコレクション</p>	<p>④</p>  <p>マイケル・M・グランシー 旋回する金色の影 1990年 セキショウコレクション</p>	<p>⑤</p>  <p>スタニスラフ・リベンスキー&amp;ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ シルエット・オブ・ザ・シティ3 1989年 セキショウコレクション</p>	<p>⑥</p>  <p>ウォーレン・ラングラー ゼブライック・エビデンス 1990年 セキショウコレクション</p>

## 展示構成

本展の展示は以下の3つの章で構成されています。

### 「世界の作家」

1960年代、それまで工業的な素材であったガラスを、芸術のための素材としてとらえてガラスの作品を制作しようという動きがアメリカを中心に興り、この動向は世界に波及します。また、ボヘミアン・ガラスの伝統をもつ当時のチェコスロバキアでも、ガラス制作の伝統の中から造形作品が生まれ出され、世界的な評価を獲得し始めていました。アメリカ、旧チェコスロバキアをはじめとする、デンマーク、ドイツ、スウェーデン、ポーランド、フランスの作家19名の作品から、20世紀後半のガラスアートの黎明期を紹介します。

(出品作家:ハーヴェイ・K・リトルトン、スタニスラフ・リベンスキー&ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ、デイル・チフォーリほか、31点)

### 「藤田喬平と日本の作家」

第二次大戦後の日本では、ガラス製作所に属する作家が、産業的なガラス製造に携わる傍らで作品制作を試み始めていました。その中で、1950年代から作家として独立したのが藤田喬平で、ガラスという素材を見つめ独自の作風を追及します。1975年に飾宮の作品が初めて海外で紹介されると、世界的なガラスアートの隆盛の中で高い評価を得て、日本を代表する作家として海外でも知られるようになります。藤田喬平の飾宮ほか代表的な作品を含む40点の作品と、3名の作家の作品をとおして藤田喬平および日本のガラスアートを紹介します。

(出品作家:藤田喬平(40点)、岩田藤七、藤田潤、生田丹代子 43点)

### 「ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房(レッツ工房)」

19世紀末から20世紀初頭、アール・ヌーボーの盛期に、表面に金属酸化物を施すことにより虹色の光沢があらわれる装飾を施した、優美で華やかなガラス作品で世界的な名声を博した、ボヘミアのガラス工房、ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ・ガラス工房(レッツ工房)の、貴重な作品28点を紹介いたします。

(出品作家:ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ工房、28点)

## 関連企画

### (1)高橋禎彦×金子賢治 クロストーク「ガラスアート・ライジング」(予約優先/定員90名)

内容：現在も国内外で活躍するガラス作家の一人で、ガラスアートの時代と作家を知る高橋禎彦氏と当館館長の対話から、ガラスアートの実体に迫ります。

日時：2月11日(日)13時30分から15時まで

講師：高橋禎彦（ガラス作家）、金子賢治（当館館長）

会場：当館1階 多目的ホール

参加費：無料（要企画展観覧料）

予約方法：右記QRコード、または電話にてお申込みください。

電話予約：0296-70-0011

<予約フォームQR>

受付開始日時：1月3日（水）から  
空き状況により当日参加可



### (2)ワークショップ「ガラスのドリームボックスをつくろう！」(要予約・抽選/各回定員10名)

内容：ガラスの箱や小瓶に専用の絵の具で絵付けをしてオープンで焼き付け、カラフルな作品をつくります。

日時：2月23日(金・祝) 午前の回：10時00分から、午後の回：14時00分から

場所：当館地下1階 研修室

参加費：無料（要企画展観覧料）

予約方法：右記QRコードにてお申込みください。

<予約フォームQR>

申込期間：1月3日（水）から2月1日（木）まで  
抽選結果は2月6日（火）以降にお知らせします。  
空き状況により当日参加可



### (3)ガラスにちなんだ読み聞かせの会(予約不要/定員30名)

美術館スタッフによる大人も子どもも楽しめる読み聞かせの会を行います。

日時：2月3日(土)13時30分から14時まで

会場：当館地下1階 研修室 参加費：無料（要企画展観覧料）

### (4)ギャラリートーク(予約不要)

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日時：3月9日(土)13時30分から14時15分まで

会場：当館地下1階 企画展示室 参加費：無料（要企画展観覧料）

### ◆BOOKコーナー（茨城県立図書館タイアップ企画）

会期中、館内に展覧会に関連したガラスや作家の関連本コーナーを開設し、ご自由にご覧頂けます。

会場：当館地下1階 オープンギャラリー 参加費：無料（要企画展観覧料）

### ◆茨城県陶芸美術館美術講座(予約不要/定員50名)（茨城県立図書館タイアップ企画）

茨城県立図書館において当館学芸員がガラスの造形表現について美術講座を実施いたします。

講師：名村実和子（茨城県陶芸美術館副主任学芸員）

日時：1月20日(土) 13時30分から15時まで

会場：茨城県立図書館 3階会議室1・2

参加費：無料

TEL:029-221-5569

※詳しくは茨城県立図書館へお問い合わせください。

### ◆つくば美術館土曜講座

「ガラスアートの兆し—20世紀後半、ガラス表現の展開」

講師：名村実和子（茨城県陶芸美術館副主任学芸員）

日時：2月10日(土) 13時30分から15時まで

会場：茨城県つくば美術館 2階アルスホール

TEL:029-856-3711

※詳しくは茨城県つくば美術館へお問い合わせください。

### ◆こどもワークシート

企画展「ガラスアート・ライジング 藤田喬平、リトルトン、リベンスキーと世界の作家」をよりよく楽しむためのワークシートを館内で配布します。当館ウェブサイトからもダウンロードしてお使いいただけます。

## 問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345（笠間芸術の森公園内）

TEL：0296-70-0011 FAX：0296-70-0012

展覧会担当：学芸課 副主任学芸員 名村実和子 e-mail：namura.miwako@post.ibk.ed.jp

主任学芸主事 岩井基生 e-mail：iwai.motoki@post.ibk.ed.jp

広報担当：企画管理課 主任学芸主事 塚田 巧 e-mail：kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp